

警察施設の耐災害性の強化により地震被害を軽減

概要: 令和6年能登半島地震において、新潟県妙高警察署等では震度5強の地震を観測したが、3か年緊急対策により建替え等の対策を実施していたことから被害は最小限に抑えられ、災害時にも継続した活動が可能であった。

対策名: 46 警察施設の耐災害性等に関する緊急対策<3か年緊急対策>【警察庁】

- 実施主体: 新潟県警察、富山県警察
(警察庁による補助金事業)
- 実施場所: 新潟県妙高市・佐渡市及び富山県富山市
- 事業概要: 警察施設に関する耐震強度、経年劣化、災害対応能力等について緊急点検を行い、建替え整備や耐震改修の必要性が判明した警察署等について必要な措置を講じる緊急対策を実施した。
- 事業費: 約8.2億円
(3か年緊急対策による補助金)

実施主体	対象警察署	事業費	事業期間
新潟県警察	妙高警察署	約1.3億円	R1～R3
新潟県警察	佐渡警察署	約1.5億円	H29～R1
富山県警察	富山南警察署	約5.4億円	R1～R2

- 効果: 令和6年能登半島地震において、新潟県妙高市・佐渡市及び富山県富山市で震度5強の地震を観測したが、3か年緊急対策による建替え等を実施したことにより、新潟県妙高警察署及び佐渡警察署では被害は生じず、富山県富山南警察署でも被害は軽微であり、災害時も継続した活動が可能であった。

妙高警察署

対策前



対策後



富山南警察署

対策前



対策後

